

平成27年度事業報告書

平成27年度は、「第4次アクションプラン」の実現に向け、官民一体となって国際競争力のある使いやすい港づくりに向けた取り組みを進めた。

客船誘致活動としては、平成26年に引き続き東京港へ入港した東京港史上最大の大型クルーズ客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」東京港初入港の「シー・プリンセス」をはじめとする国内外のクルーズ客船に対し入出港の歓送迎行事を実施したほか、港湾管理者などとの共催により「東京クルーズセミナー」を開催した。

会員向け事業については、新規採用者研修として活用していただけるよう東京港見学会の実施内容の見直しや最新の大型物流施設「羽田クロノゲート」の見学会の開催に加え、新たに東京港の魅力の一つである夜景を鑑賞する東京港夜景見学会を開催するなど更なる充実に努めたほか、東京港振興使節団の海外派遣をはじめ、東京港見学会の実施、各種資料の発行、東京みなと館の運営など東京港のPR活動を例年通り展開した。

また、収支の改善を図るため経費の削減に努めるとともに、協会の財政基盤の確立のための収益事業を実施した。

1. 港湾振興事業

(1) 東京港振興促進協議会

平成26年1月に策定された「第4次アクションプラン」の課題実現に向け、東京港の物流機能の強化や安全の確保・危機管理、環境に配慮したみなとづくり、みなとの賑わいの創出などへの取り組みを進めた。

(2) 船舶貨物誘致活動の推進

東京港振興使節団として次のとおり使節団を派遣し、ポートセールス活動を展開した。

派遣期間 9月1日から6日までの6日間

派遣先 アメリカ（ニューヨーク・ニュージャージー港、シアトル港）

活動内容 現地の港湾管理者や荷主等を訪問し、東京港の利用促進に向けたポートセールス活動を行うとともに、港湾経営に関する意見交換や港湾施設及び物流施設の視察など港湾情報の収集を行った。

また、シアトルでは現地の客船社を訪問し、東京港のクルーズ客船誘致についてのプレゼンテーションや意見交換を行った。

なお、ニューヨーク・ニュージャージー港において姉妹港提携35周年の共同声明への調印が行われた。

(3) 客船誘致活動の推進

① 入出港歓送迎行事等の実施

平成26年に引き続き東京港へ入港した東京港史上最大の大型客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」や東京港初入港となる「シー・プリンセス」をはじめ国内外のクルーズ客船に対して延べ14回の入出港歓送迎行事を行い、記念品を贈呈するなどの誘致活

動を行った。

また、都民を対象とした低廉な価格設定による「都民クルーズ」に協力し、東アジアを巡るクルーズなど5回のクルーズを支援するとともに、「全国クルーズ客船誘致連絡会」に参加し、今後の客船の動向など効果的な受け入れのための情報を収集した。

② 東京クルーズセミナーの開催

東京都のクルーズ客船誘致に対する取り組みを周知し、伊豆・小笠原諸島の観光についての最新情報を提供するとともに、東京港への要望などについてヒアリングを行うため、平成26年度に引き続きクルーズ客船運航事業者や旅行会社などの業界関係者を対象にセミナーを開催した。

開催日 3月28日

開催場所 帝国ホテル

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約50名

③ 東京クルーズ客船プロジェクトチームへの参加

東京都港湾局、東京港埠頭株式会社及び当協会によるプロジェクトチームに参加し、クルーズ客船の東京港誘致に向けた取り組みについて検討を行った。

(4) 荷主などとの懇談会の開催

東京港の利用促進に向けた取組として、荷主・フォワーダーなどを対象に、海上から東京港の港湾施設を見学し、使いやすい港づくりに向けた取組みなどを紹介するとともに、荷主などの意見・要望を把握し、新たな施策展開に向けた検討に資するため、東京都港湾局、東京港埠頭株式会社との共催により「東京港のつどい」を開催した。

開催日 2月8日

主催者 東京都、東京港埠頭株式会社、東京都港湾振興協会

参加者 約150名

(5) 都民を対象とした東京港などの見学会の実施

① 社会科見学船による東京港案内

東京都との共同事業として、船の提供は都が、募集・案内業務は当協会が担当し、都内の小学4年生から6年生及び中学生を対象に、海上バスによる東京港案内を実施し、東京港の役割や都民生活とのかかわりなどを説明した。

67航海、154団体、11,505名の乗船者に対して案内を実施した。

② 新東京丸による東京港見学会

広く都民に東京港をPRするため、新東京丸による東京港案内と東京みなと館の見学を行う東京港見学会を実施した。

この見学会は公募により参加者を募集し実施しているが、平均で約20倍程度と多数の応募があり、都民に対する東京港のPR活動として定着している。

11回実施し合計485名の参加を得た。

③ 東京港夜景観賞ツアー

広く都民に東京港の魅力をPRするため、公募により参加者を募集し、普段は見る機

会の少ない東京港の夜景を東京みなと館及び海上バスから観賞するツアーを実施した。

実施日 11月20日、25日の2回

参加者総数 450名（応募倍率20.4倍）

(6) 東京港及び臨海副都心の観光案内事業の実施

東京港及び臨海副都心を、都民はもとより国内外の多くの人々に親しまれる東京の観光スポットとしてさらに発展させるため、日の出ふ頭海上バス発着所に観光案内掲示板及びパンフレットスタンドなどを設置し、各種博物館などの施設案内や港湾局事業をはじめとする東京都のお知らせやイベントなどの情報提供に努めた。

なお、英語や中国語、韓国語などの外国語のパンフレットを配備するなど外国人に対するPR活動の充実を図った。

2. 情報提供等事業

(1) 会誌「東京港」及び東京港関係資料などの発行・配布・販売

- ① 会誌「東京港」（年4回発行）
- ② 「東京港ハンドブック」（和文・英文）
- ③ 「東京港便覧」

なお、東京港港湾統計調査月報については、会員を対象に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、より活用しやすくかつ最新の情報が提供できるようホームページでの情報提供に変更するとともに、印刷経費の削減に努めた。

(2) 会員を対象とした東京港などの見学会の開催

① 会員向け東京港見学会・研修会

新東京丸やバスなどを利用し、東京港の現状を直接見ていただくとともに、会員企業・団体の新規採用者研修などの業務研修として活用していただくための東京港の見学会・研修会を実施した。

(ア) バスによる東京港研修・見学会（4月、2回実施） 合計78名参加

(イ) 新東京丸による東京港見学会（12月、3回実施） 合計113名参加

② 東京港港湾施設等見学会

大型物流施設「羽田クロノゲート」の見学会を実施した。

実施日 2月12日

参加者 34名

③ 東京港夜景見学会

新たな会員向けの事業として、東京港の夜景を海上バスと東京みなと館から観賞する夜景見学会を実施した。

実施日 11月17日

参加者 147名

(3) 東京都港湾局等事業説明会及び講演会

東京都港湾局及び東京港埠頭株式会社の平成27年度事業についての説明会と東京都港湾局技監による東京港の最新のトピックスをテーマとした講演会を開催した。

開催日 4月9日
開催場所 経団連会館
参加者 228名

<事業説明会>

① 「平成27年度 東京都港湾局事業について」

東京都港湾局総務部企画計理課長 巻嶋 國雄 氏

② 「平成27年度 東京港埠頭株式会社事業について」

東京港埠頭株式会社総務部経理課長 安川 一生 氏

<講演会>

「東京港の最近の話題」

東京都港湾局技監（オリンピック・パラリンピック準備局技監兼務）

石山 明久 氏

(4) 港湾事業講習会及び東京都港湾整備振興大会の開催

港湾に関する講習会及び港湾整備事業の拡大強化を図るための集会を次のとおり実施した。

開催日 7月6日
開催場所 経団連会館
参加者 238名

① 港湾事業講習会

国際コンテナ物流のこれまでの変遷と今後の動向などについての講演会を開催

「激動のコンテナトレード 過去、現在、これから」

株式会社海事プレス社 代表取締役社長 税所 史朗 氏

② 東京都港湾整備振興大会

港湾整備事業の拡大強化を図るため、都議会議員をはじめ、島しょの各町村長、東京都港湾局長ほか関係者の臨席のもと、東京都の港湾・海岸整備の振興に対する要望に関する決議文を採択し、関係機関への要望活動を実施

3. 東京みなと祭事業

東京みなと祭協議会事務局として、5月23日・24日の両日に、晴海客船ターミナルを中心に第67回東京みなと祭を開催した。

恒例行事のポートバザールや東京港クルーズ、珍しい船の一般公開などをはじめ、東京みなと館の出張ブースや、東京港内の穴場のビューポイントをバスで巡り、隠れた東京港の魅力をPRするツアーなど、東京港のPRを一層図る多彩な行事を実施した。

また、共催行事としてドラゴンボート大会を実施したほか、協賛行事として、水の消防ページェントなどが実施された。

共催行事を含めた総来場者数は100,000人にのぼった。

5月20日には東京港開港記念行事として、東京港港湾功労者表彰式を芝浦サービスセンターにおいて開催し、港湾功労者16名に対し都知事感謝状と記念品を贈呈した。

表彰式に引き続き、東京港開港記念祝賀会実行委員会事務局として東京港開港記念祝賀会を開催し、265名の出席者があった。

4. 広報関連受託事業

東京都から委託を受けて、次の事業を東京港PR活動として実施した。

(1) 初入港船等の歓送迎

初入港船、外国客船、国内クルーズ客船、コンテナ船などに、90回の歓迎行事を実施した。

また、外国客船については、英文等のガイドマップを乗客、乗員に配布し、船内または客船ターミナル内にて観光ボランティアを活用したインフォメーションカウンターを開設するなど乗客、乗員に対するサービスの向上に努めた。

(2) 新東京丸による東京港案内

国内の港湾関係者のほか、広く都民を対象に、視察船「新東京丸」による東京港案内を実施し、東京港の将来計画や各種港湾施設の説明を通じ、東京港の機能や都民生活とのかわりなどの理解を図った。

264航海、752団体、11,747名に対して案内を実施した。

5. 助成事業

公益財団法人日本財団の助成事業として、小中高生及びPTAなどの団体を参加対象とした海上バスによる東京港見学及び東京みなと館の見学研修会を実施し、港の施設や港湾の果たす役割などを説明し、海事思想の普及に努めた。

30回実施し、75団体、5,178名の参加を得た。

6. 東京みなと館事業

展示内容を現況に則したものにすため、平成26年度に引き続き各種展示物を改修したほか、集客を図るため、次のとおり特別企画展を開催した。

① 写真展「シリーズ 東京港の遺構」

東京港の整備が進む一方で姿を消してしまった、かつては東京の経済と都民生活を支えた施設の存在や歴史的役割を伝える写真展をシリーズ仕立てで開催

第1回 東京港貨物専用鉄道と晴海鉄道橋 期間 7月21日～11月1日

第2回 船の科学館と宗谷 期間 11月3日～1月31日

第3回 品川台場と旧防波堤（鳥の島） 期間 2月2日～5月1日

② 「東京みなと祭」への参加

5月23日・24日の両日に開催された「東京みなと祭」へ「出張 東京みなと館」として出展し、客船や貨物船などの商船模型を展示したほか、東京みなと館所蔵の映像や記録写真を上映・展示

入館者は都民をはじめ、国内外からの行政視察、港湾関連企業グループ、小中学生の社会科見学など多岐にわたった。

平成27年度の入館者数は26,542名であった。

7. 収益事業

当協会が設置した駐車場、自動販売機などの営業活動を実施するとともに、「東京港ハンドブック」「東京港便覧」などの東京港関係資料や、東京都が取組んでいる「東京ブランド推進キャンペーン」に対応して、新たに作成した「PORT&TOKYO」のロゴを入れたトートバッグやステッカーなどの東京港グッズの販売を行った。

8. 会員の異動状況

(1) 新規入会申し込み会員

入会年月日	級別	会員名	代表者 役職氏名	所在地	主な業務内容
28.2.2	3級	株式会社 京葉興業	代表取締役 鈴木宏和	江戸川区篠崎町1-2-6	廃棄物処理業、 維持管理業、 土木工事請負業、 自動車整備業ほか
28.2.4	4級	鈴政印刷製本 株式会社	代表取締役 鈴木保政	台東区寿3-16-6	印刷業

法人 2社

(2) 退会会員

法人 4社

(3) 会員数

309社（平成28年6月1日現在）